



創立15周年記念誌



国際ロータリー第255地区
西那須野ロータリークラブ



西那須野ロータリークラブ「バナー」由来

西那須野町も塩原町もかつて広大な那須の原野であった。鎌倉幕府三代目の将軍となった源実朝が、父頼朝の那須野ヶ原の狩りを思い浮かべて詠んだ。

武士の矢なみつくらう小手の上に

あられたばしる那須の篠原（金槐和歌集）

という一首がある。

これから昔を偲んで矢羽を象徴化した。又ロータリーの活動が的を得た活動として推進されることを祈願して、という意味も含めてある。

色彩的にはバックの象徴色は清深さを、コバルトは深遠で澄んだ空、永劫を象徴して、地名のエンジ色は奉仕の理想に燃える象徴色でもある。

（デザイナー 関谷 次男氏）

目 次

| | |
|---------------------------|---------------------------|
| ク ラ ブ バ ナ ー | 1 |
| 国際ロータリー加盟認証状 | 2 |
| 会 員 よ せ 書 | 3 |
| 思 い 出 の ア ル バ ム | 4 |
| 創 立 1 5 周 年 記 念 式 典 | 26 |
| プ ロ グ ラ ム | 27 |
| 来賓並びに招待者御芳名 | 29 |
| 姉妹クラブとの交歓前夜祭 | 31 |
| 歓 迎 挨 拶 | 会 長 岡 部 稔 |
| 記 念 式 典 | 33 |
| 歓 迎 挨 拶 | 会 長 岡 部 稔 |
| 祝 辞 | 地 区 ガ バ ナ ー 小 竹 俊 夫 殿 |
| 祝 辞 | バ ス ト ガ バ ナ ー 坂 本 守 殿 |
| 祝 辞 | 衆 議 院 議 員 渡 辺 美 智 雄 殿 |
| 祝 辞 | 県 会 議 員 郡 司 征 夫 殿 |
| 祝 辞 | 桃 園 R C 会 長 陳 顕 清 殿 |
| 祝 辞 | 3 6 9 地 区 ガ バ ナ ー 金 洛 津 殿 |
| 祝 電 | |
| ク ラ ブ 小 誌 | 46 |
| 歴代クラブ会長テーマ並びに方針 | 47 |
| 各年度例会プログラム（5ヶ年） | 57 |
| 年度別会員数及び出席率 | 76 |
| ロータリー財団年度別実績 | 77 |
| 米山記念奨学会年度別実績 | 78 |

| | |
|--|-----|
| 姉妹クラブ締結 | 79 |
| 韓国 東水原ロータリークラブとの締結 | 80 |
| 中華民国 桃園ロータリークラブとの締結 | 88 |
| マット・カバラスR I会長エレクト歓迎例会 | 93 |
| 第4回日比ワークショップ | 97 |
| プログラム | 98 |
| R I会長エレクト書簡 | 102 |
| 255地区年次大会(1983~84) | 103 |
| プログラム | 104 |
| 草野栄龍大会委員長挨拶 | 108 |
| 鈴木基一ガバナー挨拶 | 109 |
| 米山記念奨学生報告 | 112 |
| ロータリー財団奨学生報告 | 116 |
| 鈴木基一P. G. R I会長代理として269地区年次大会に出席 | 119 |
| 草野栄龍元会長追悼例会 | 126 |
| 会員紹介 | 134 |
| あとがき | 141 |



認 証 状 訳 文

この西那須野ロータリークラブは正式に結成せられ、且つその役員および会員を通じ、国際ロータリーの定款並びに細則を遵奉することを誓約することは、本証書を受納することによって立証せられた。よってここに国際ロータリーの会員たることを正式に承認せられ、且つその会員としての権利と特典を享受するものであることを証明する。

その証として国際ロータリーの印章を捺し正規の権限を有するその役員が1971年12月10日ここに署名するものである

| | |
|----------|----------------|
| R. I. 会長 | アンストG. ブライトホルツ |
| 事務総長 | ジョンR. ミーンズ |
| 地区ガバナー | 瀧 沢 信 二 |

創立15周年記念会員よせ書

昭和六年六月六日

創立十五周年記念

方殿千治 池島英哲
 明里夫 佐藤正一
 河野文 大佐直又
 如大 蘇透
 小龍信光 君島久達
 若島久達 伊藤俊三
 青山半三 菊地孝一
 君島隣 小林三治
 久保福市 鈴木基一
 村上善英 岡部總
 工屋中 鈴木基一
 鈴木伊勢松 三森善夫
 高野三郎 城田正男
 西山公昭 室中行男
 福不治 高橋智純
 小澤義明 渡辺和男
 尾善浩輝 渡邊陸田力藤
 小澤恒明 齊藤正之

思い出のアルバム

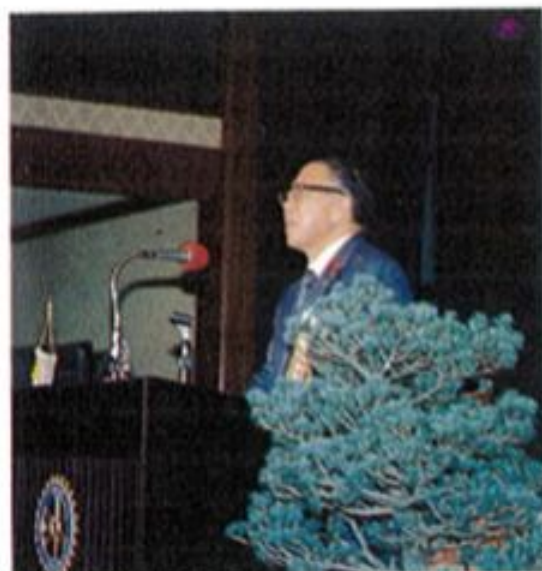
- (1) 創立15周年式典
- (2) 日比ワークショップ
- (3) ガバナー誕生
- (4) 1983～84年度255地区年次大会
- (5) カパラスR.I. 会長エレクト歓迎例会
- (6) ガバナー公式訪問
- (7) 韓国東水原ロータリークラブとの姉妹クラブ締結
- (8) 台湾桃園ロータリークラブとの姉妹クラブ締結
- (9) 米山記念奨学生及びロータリー財団奨学生の皆さん
- (10) 姉妹クラブとの交流
- (11) カパラスR.I. 会長代理として 269地区年次大会に
鈴木P.G. 出席
- (12) 表 彰



創立15周年式典



▲ 岡部会長挨拶



▲ 小竹ガバナー祝辞



▲ 式 場



▲ 坂本パストガバナー祝辞



▲ 朴 東水原 R.C. 名誉会長祝辞



▲ 陳 桃園 R.C. 会長・岡部会長



◀ 海外姉妹クラブ参加

▶ 姉妹クラブ一行日光見学



日比ワークショップ



▲ 参加者全員の記念撮影



▲ 開会



▲ 伊藤 R. I. 理事挨拶

◀ カバラス会長エレクトメッセージ



▲ 懇親会 鏡開き



▲ 鈴木チェアマン挨拶

岡部ホストクラブ副会長挨拶

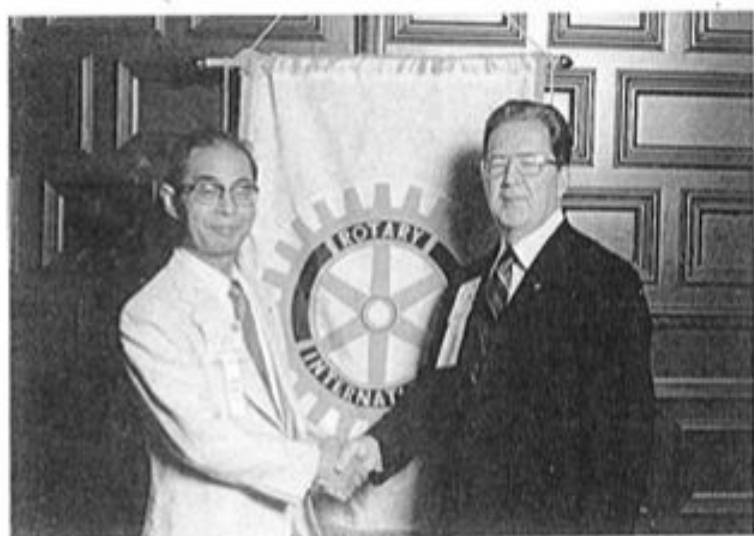


▲ カパラス・鈴木両夫妻



◀ 懇親会風景

ガバナー誕生



◀ 鈴木ガバナーと
スケルトンR・I・会長



▲ 国際ロータリー中央事務局前にて



▲ 国際大会参加の諸兄弟と



◀ 国際協議会へ出発直前
ガバナー事務局前にて



◀ ガバナー旗

1983～84年度 255地区年次大会



▲ 開 会



▲ ハロルド・ヘンダーソン R.I. 会長代理



▲ ホストクラブ役員



▲ タウンミーティング



▲ ランチオンパーティー



▲ 余 興「韓国律呂学会」



▲ 総懇親会



▲ R.I. 会長代理夫妻とガバナー夫妻

カパラス R.I. 会長エレクト 歓迎例会



於ホテルニュー塩原
昭和60年11月18日



昭和60年11月18日
於ホテルニュー塩原



昭和60年11月18日
於ホテルニュー塩原

ガバナー公式訪問



衣笠秀夫ガバナー公式訪問 1982. 9. 7 西那須野R.I.



11月22日 於 割烹いとう



▲ 昭和59年7月10日



▲ 7月16日 於 足利銀行2階会議室



▲ 昭和61年7月15日 於 足利銀行2階会議室

韓国東水原ロータリークラブとの姉妹クラブ締結



◀ 金甫空港にて



▲ 締結式場



◀ 両クラブ会長を中心に



▲ 井上会長調印



◀ 調印締結書を手に
両クラブ会長

▶ 式後の祝賀会



台湾桃園ロータリークラブとの姉妹クラブ締結



▲ 手塚会長挨拶



▲ 鈴木 P.G. 祝辞



▲ 両クラブ会長調印



▲ 林 桃園会長挨拶



▲ 両クラブ会長の記念品交換



▲ 万歳三唱

米山記念奨学生及びロータリー財団奨学生の皆さん



▲ 第3回 日韓親善会議会場



▲ 日韓親善会議
米山奨学生代表
李 源珠さん



▲ クラブ新年家族会での
李 源珠さん

台北総統府前にて
米山奨学生 洪 秋芬さんと共に





◀ 西独ミンスター大学へR.財団
奨学生として留学した津吉 靖
さん。カウンセラーケツパー
教授(ミンスターR.C.)のご
家族と共に



▶ お茶の会での津吉靖さん



▲ クラブ集会で館野ガバナーと談話の 洪秋芬さん

姉妹クラブとの交流



◀ 比国パラニアツケにて
三つ口完治の子供達と

東水原R.C. 訪韓会員 ▶



◀ 東水原R.C. 訪日会員

▶ ほがらかな東水原の皆さん





◀ 最初の桃園訪問団
(石門水庫にて)

▶ 桃園R.C. 来訪の皆さん



◀ 桃園児童合唱団教師を
迎えて

▶ 桃園R.C. 25周年
記念式典列席の訪台会員



カパラス R.I. 会長代理として 269地区年次大会に鈴木 P.G. 出席



▲ 中島ガバナーと共に



◎ 鈴木基一

◎ 令夫人

▲ 着 席



▲ 入 場



▲ 大会々場正面



▲ R.I. 会長代理メツセージ



▲ 記念品を受けて



表 彰



▲ 1981~82 世界理解平和賞 Stanley E. McCaffrey



▲ 1976~77 意義ある業績賞 Robert A. Manchester

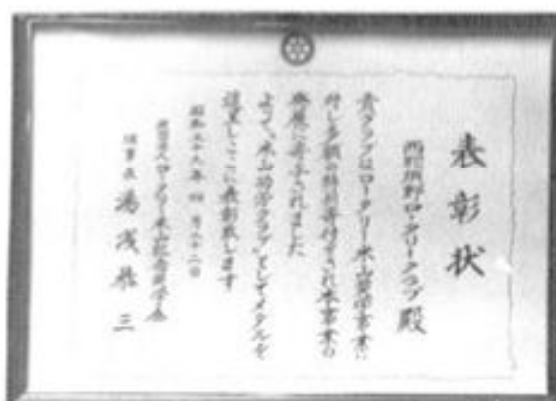


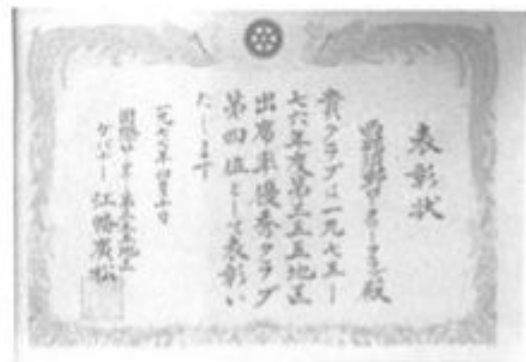
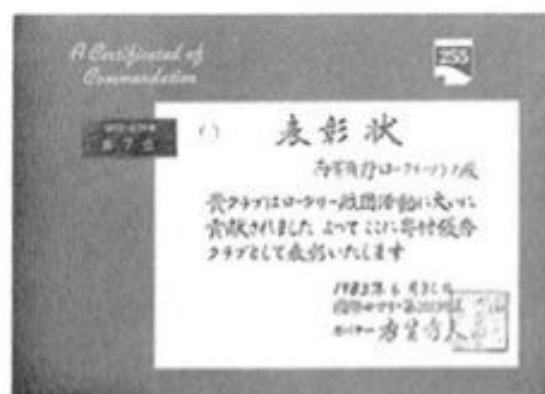
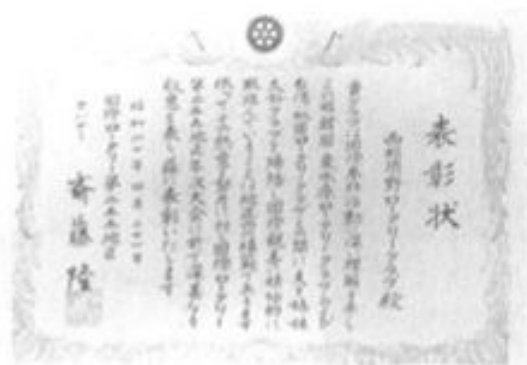
▲ 1979~80 意義ある業績賞 James L. Bomar



◀ 1983~84 意義ある業績賞 William E. Skelton









創立15周年記念式典

1986年11月6日
ホテル ニュー塩原



プログラム

姉妹クラブとの交歓前夜祭

10月5日 午後6時30分～8時30分
 会 場 レインボーパレス
 司 会 副SAA 関谷 直人

| | |
|-------------|---------------------|
| 歓迎のことば | 会 長 岡部 稔 |
| 来訪姉妹クラブ代表挨拶 | 桃園 R. C. 会長 陳 顯 清 |
| | 東水原 R. C. 副会長 張 世 斗 |
| 乾 杯 | 姉妹クラブ代表 李 伝 滄 |
| | 桃園 R. C., P. G. |
| 余 興 | 日 舞 その他 |

創立 15 周年 記念 式 典

受 付 10月6日午前10時～11時
 式 典 午前11時～12時20分
 会 場 レインボーパレス
 司 会 S. A. A. 森 利男
 アシスタント 小滝 信光
 〃 関谷 直人

| | | |
|-----------------------|---------|-------|
| 開式のことば | 式典副委員長 | 鈴木伊勢松 |
| 点 鐘 | 会 長 | 岡部 稔 |
| 参加各国々旗入場 | | |
| 参加各国々歌斉唱 | | |
| ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」 | ソングリーダー | 高橋 智純 |

来 賓 紹 介
参 加 ク ラ ブ 紹 介
会 長 式 辞
物 故 会 員 に 対 す る 黙 祷
ク ラ ブ 1 5 年 の 歩 み
記 念 事 業 披 露 並 び に 目 録 贈 呈
来 賓 祝 辞

会 長 岡 部 稔
会 長 岡 部 稔
会 長 岡 部 稔
会 長 岡 部 稔
式 典 委 員 長 鈴 木 基 一
会 長 岡 部 稔
地 区 ガ バ ナ ー 小 竹 俊 夫
バ ス ト ガ バ ナ ー 坂 本 守
衆 議 員 議 員 渡 辺 美 智 雄
県 会 議 員 郡 司 征 夫
姉 妹 ク ラ ブ 代 表

桃 園 R. C., P. G. 李 伝 滄
東 水 原 R. C. 名 譽 会 長 朴 鎬 秉

祝 電 披 露
閉 式 の こ と ば
点 鐘

幹 事 鈴 木 道 雄
式 典 副 委 員 長 井 上 正 夫
会 長 岡 部 稔

祝 宴

10月6日午後0時30分～2時30分

会 場 レストラン シアター

司 会 副 S. A. A. 小 滝 信 光

会 長 岡 部 稔

直 前 ガ バ ナ ー 館 野 斐 雄

日 舞 及 び ブ ル ガ リ ア の 唄 と 踊 り

式 典 副 委 員 長 伊 藤 俊 三

手 に 手 を つ な い で

開 宴 の こ と ば
乾 杯
祝 宴
余 興
閉 宴 の こ と ば
ロ ー タ リ ー ソ ン グ

御来賓並びに御招待者御芳名

| | | | | |
|-------------------------|----|----|-----|---|
| 衆議院議員 | 渡郡 | 辺司 | 美智雄 | 殿 |
| 県議会議員 | 高坂 | 野内 | 征三 | 殿 |
| 西那須野町々長 | 印南 | 南橋 | 半之 | 殿 |
| 塩原町々長 | 高加 | 藤島 | 一 | 殿 |
| 西那須野L.C.会長 | 大橋 | 本田 | 正良 | 殿 |
| 下野新聞社 | 石 | | 光 | 殿 |
| 栃木新聞社 | | | 清 | 殿 |
| 朝日新聞社 | | | | 殿 |
| N. H. K. | | | | 殿 |
| 大野州新聞社 | | | | 殿 |
| R. I. 255地区ガバナ | 小坂 | 竹本 | 俊夫 | 殿 |
| ＊ バストガバナ | 瓜 | 生 | 英 | 殿 |
| ＊ バストガバナ | 湯 | 原 | 竹 | 殿 |
| ＊ バストガバナ | 斎 | 藤 | 之 | 殿 |
| ＊ バストガバナ | 大 | 橋 | 五 | 殿 |
| ＊ バストガバナ | 衣 | 笠 | 章 | 殿 |
| ＊ 令夫人 | 衣 | 笠 | 秀 | 殿 |
| ＊ バストガバナ | 館 | 野 | 幸 | 殿 |
| ＊ 令夫人 | 館 | 野 | 斐 | 殿 |
| ＊ 地区幹事 | 川 | 川 | 富 | 殿 |
| ＊ 令夫人 | 川 | 川 | 勝 | 殿 |
| ＊ 地区会計長 | 鈴 | 木 | 和 | 殿 |
| 栃木第一分区代理 | 金 | 子 | 良 | 殿 |
| 栃木第二分区代理 | 木 | 村 | 新 | 殿 |
| 栃木第三分区代理 | 沼 | 部 | 波 | 殿 |
| ＊ 令夫人 | 沼 | 部 | 治 | 殿 |
| 栃木第四分区代理 | 沼 | 部 | 田 | 殿 |
| 栃木第五分区代理 | 駒 | 場 | 鶴 | 殿 |
| スポンサークラブ大田原R.C.会長 | 久 | 保 | 愛 | 殿 |
| ＊ 令夫人 | 島 | 崎 | 友 | 殿 |
| スポンサークラブ大田原R.C.幹事 | 島 | 崎 | 六 | 殿 |
| | 齋 | 藤 | あ | 殿 |
| | | | き | 殿 |
| | | | 典 | 殿 |
| | | | 男 | 殿 |
| R. I. 第345地区 バストガバナ | 李 | 傳 | 滄 | 殿 |
| ＊ 桃園R.C.会長 | 陳 | 顯 | 清 | 殿 |
| ＊ 桃園R.C.次期会長 | 楊 | 敏 | 盛 | 殿 |
| ＊ 桃園R.C.バスト会長 | 頼 | 君 | 勝 | 殿 |
| ＊ 桃園R.C.バスト会長 | 林 | 永 | 泉 | 殿 |
| ＊ 桃園R.C.理事 | 高 | 永 | 吉 | 殿 |
| ＊ 桃園R.C.監事 | 楊 | 坤 | 儀 | 殿 |
| ＊ 桃園R.C.会計 | 石 | 朝 | 金 | 殿 |
| ＊ 桃園R.C.プログラム委員 | 楊 | 惠 | 寬 | 殿 |
| ＊ 桃園R.C.青少年委員長 | 詹 | 村 | 勇 | 殿 |
| R. I. 第369地区東水原R.C.名誉会長 | 朴 | 鎬 | 秉 | 殿 |
| ＊ 東水原R.C.副会長 | 張 | 世 | 斗 | 殿 |



前夜祭歓迎挨拶

会 長 岡 部 稔

西那須野ロータリークラブ創立15周年記念式典を明日に控え、今宵は姉妹クラブ台湾桃園ロータリークラブ、韓国東水原ロータリークラブの皆様をお迎えしての交歓前夜祭を開催出来ますことは会員一同この上ない喜びであり、桃園ロータリークラブの皆様におかれましては貴クラブの創立25周年を11月6日に控え、また東水原ロータリークラブの皆様は、第10回アジア競技大会開会中のお忙しい日程をまげて当クラブの為に遠路御来駕を賜りましたこと、クラブを代表致しまして衷心より厚く御礼申し上げます。

顧みますれば、当クラブに鈴木基一ガバナーが誕生、国際ロータリー第255地区年次大会が開催され、タウンミーティング、“アジアのロータリーの将来を考える”のテーマにて台湾より李伝滄バスターガバナー、韓国より方炫バスターガバナーが代表で御臨席され、その御縁で一昨年東水原ロータリークラブへお伺い致し（1984年12月13日）姉妹クラブの締結を行い、更に昨年（1985年10月11日）台湾桃園ロータリークラブの皆様をお迎えして、当クラブにて姉妹クラブの締結を見たのであります。

我々3クラブは、姉妹クラブとしての歴史こそ未だ浅く、十分な交流とは申せませんが、桃園ロータリークラブのロータリアンの積極的な御努力にて、桃園児童合唱団が結成され又東水原ロータリークラブの皆様が来年創立5周年記念式典を迎えられるに当たり、お互いの親善と交流が益々促進され、国際理解のもとに着実にその歩は前進をしております。

今年度R I マットカバラス会長のテーマ「ロータリーは希望をもたらす」を心に抱き三姉妹クラブが今日の出逢いを大切に、奉仕への情熱を四大奉仕部門に傾注されれば、来るべき21世紀のアジアのロータリーに大きな希望をもたらす事が出来るものと確信致します。

お互いに手を結びアジアのロータリーの為に前進しようではありませんか。

前夜祭は親しい三姉妹クラブ同志の集いでございます。お時間の許す限りご緩りとご歓談下され大いに話しに花が咲きますことをご期待致しますと共に三クラブ益々の御繁栄と御多幸を、お祈り申し上げ私の挨拶と致します。



開式の挨拶

実行副委員長 鈴木伊勢松

御来賓の皆様ようこそお出で頂きました
クラブ会員一同心から歓迎を申上げる次第
でございます。

只今から国際ロータリー第255地区西那
須野ロータリークラブの15周年記念式典を
開催致します。





会長 歓迎挨拶

会長 岡部 稔

皆様おはようございます。

本日西那須野ロータリークラブ創立15周年記念式典を挙げるに当たり御多忙の中を小竹俊夫ガバナー、地区内外のバスターガバナー御夫妻、海外姉妹クラブ国際ロータリー第345地区台湾桃園ロータリークラブ、第369地区韓国東水原ロータリークラブのロータリアン、特別御来賓として衆議院議員渡辺美智雄先生、栃木県議会議員郡司征夫先生、更に海外友好クラブであります、国際ロータリー第523地区アメリカ合衆国バイセリアロータリークラブゲスト・ミス・フーバー・クリスタ・リーはじめ多数の御来賓の方々の御臨席のもとにロータリアン及び御家族の皆様が遠路当地に御参集を頂きかくも盛大に記念式典を開催出来ますことは会員一同この上ない喜びであり感謝にたえません。

心より厚くお礼申し上げます。

西那須野ロータリークラブは昭和46年に27名のチャーターメンバーを以って誕生致した訳でございます。創立に当たりましてはスポンサーの労をおとり下さいました大田原クラブの皆様、更に特別代表堀江護様をはじめとする各位には大変お世話様になりました。

創立以来15年を経過いたしお蔭様にて当クラブも、この間創立会員はもとより歴代の会長・幹事そして両者を強力な奉仕を以

って支えられた全ロータリアンの友情が榮えある西那須野ロータリークラブとしての基を築き上げたことと存じます。

現在72名の会員がすべて四大奉仕部門に、奉仕の理想を以って活躍され、「ロータリーは希望をもたらす」をテーマに実りある奉仕を実現致すべく精進致しております。

会員の夫々が如何にご自分の職業を通し地域社会更に、国際社会に貢献することが出来るか、我々は今から将来に飛躍せんが為の奉仕を、足どりを確かに進めて行くことが大切ではないかと思ひます。

本日御参加下されました、友情溢れるロータリアンの皆様、アジアより特別参加下されました桃園ロータリークラブ・東水原ロータリークラブの方々と大いに親交を深められまして、お互いの親睦と国際理解が促進されますれば将来のアジアに、多くの希望をもたらすこと、存じます。

私達は15周年記念事業の一環としてこの度社会奉仕事業を塩原町に、又ロータリー財団・米山記念奨学会に夫々金一封を贈呈いたします。

結びと致しまして、本日御臨席を賜りました、来賓並びにロータリアンの皆様、今後共変らぬ御指導と御鞭撻を切にお願い申し上げます、と共に皆様の御発展と御多幸を祈念申し上げ、歓迎の挨拶に代えさせていただきます。



祝 辞

国際ロータリー第255地区
ガバナー 小竹俊夫 殿

本日は西那須野ロータリークラブ15周年記念式典にお招きを頂き誠に有難う御座います。

国際ロータリー並びに地区76クラブ4100余名のロータリアンの方々と共に記念日を心より御祝いを申し上げます。

只今は「ロータリー財団」「米山奨学会」に多額のご寄付を頂き有難う御座いました。

クラブの皆様の貴い志を十分に生かし役立てますよう使わせて頂きます。厚く御礼申し上げます。

さて、皆様が愛されるこのクラブは、昭和46年11月8日創立総会を開催され、12月10日国際ロータリーより認証されて居ります。チャーター・ナイトは昭和47年6月4日場所も今日と同じ「ホテルニュー塩原」で行われました。

大田原ロータリークラブの御世話により27名で発足しましたのが今日では72名となりました。更にもっと大きく増強する意欲を十分に持って居られます。

その頃の我が国は、大阪千里ヶ丘の万国博覧会が盛大裡に閉幕となり、次の時代を目ざし発展の年でもありました。

雑誌、「ロータリーの友」で見ますとこ

の11月には「談話室」にP. G大橋さんが「交換学生の民宿」と言うことを書いておられ、昭和47年1月号に仮クラブ設立の記事が出ておりロータリー全国地図には3月号より11月号に「バナー」紹介が出ております。当時のロータリーの状況は、日本全国のロータリークラブ1,074クラブ、会員は53,291名であり、今日は1,716クラブとなり会員も99,648名となりました。当地区では当時355地区と申し45クラブ2,072名でありました。現在では255地区76クラブ4,100余名であります。会員数では皆様のクラブは3倍の驚異的増強であり、日本の地区では約2倍となっております。

これ等の、真面目に奉仕を考える人々が、互いに友情を温め親睦を深めながら、奉仕の心と心を結ぶ友愛の輪を広げながら、それぞれの地域にロータリー精神を植えつけ、明るく住みよい国造りにいそしみ、ひいては国際理解と親善とが相まって世界平和を達成しようと努力しているのであります。

皆様方のクラブもこの目的にそって数多くの奉仕につとめられたのであります。それは2回にわたる西那須野・塩原のPTA協議会よりの感謝状にもよく示されてお

ます。

又、国際ロータリー会長並びに地区ガバナーよりは昭和48年以後今日迄12回という映えある表彰を受けておられます。この点でもよく精進をされた跡が窺われるのであります。その中で3回受けられた、「意義ある業績賞」並びにその他表彰を申し上げて見ましょう。

1、米国カリフォルニア州バイセリアロータリークラブとの友好と交流、昭和51年度には高校生20数名を米国に派遣し、昭和53年には50数名の生徒及び家族を米国より招かれ大変な御仕事でした。その後も継続して行っておられます。

2、昭和55年、ガバナー賞及び意義ある業績賞として西那須野少年少女合唱団の結成についての物心両面にわたる援助をしておられます。

3、昭和57年、国際ロータリー会長より特別世界理解平和賞を授与されましたが、これは106名の少年少女合唱団をフィリッピンへ送られ演奏活動をなされた結果です。立派な可愛い子供達の国際親善でありました。

4、昭和59年、意義ある業績賞として西那須野少年少女合唱団による、黒羽刑務所、失明者の国立療養所光明寮、老人ホーム、アジア学院への慰問演奏を対照として。

5、昭和61年、日比ワーク・ショップのホスト・クラブとしてガバナー感謝状を受けられました。

町への援助としては

- 1、「4つのテスト」の石碑、
- 2、役場広場への電子時計の塔、
- 3、挨拶運動の為の告知表示板、等々を建てました。

又クラブとしては地区ガバナーとして鈴木基一さんを出され全員心温まる協力をされ、立派にガバナー職を務めあげさせています。

友好・姉妹クラブとして米国・中華民国・韓国のクラブと親睦を深められました。

今年度MATカバラス国際ロータリー会長のテーマは「ロータリーは希望をもたらす」であります。皆様一人一人がロータリーの愛の奉仕と明るい希望をもたらす事を念願とされ、この世の隅々まで「一隅を照らす」心を捧持されお務め下さい。

皆様のクラブは15年間地域の為よく奉仕されました。この奉仕の理想の定着を一つの転機とされ町の人々にとっても掛け替えないクラブになっていただきます。

何卒、一層奉仕に精進されることを期待し、またお願いします。

以上15周年記念へのお祝いの言葉といたします。

おめでとう御座いました。



祝 辞

バストガバナー 坂本 守 殿

この度西那須クラブが目出度く15周年を迎えられ、今日の佳き日をトしまして記念式典を挙行されるに当り、お招きを頂き茲にお祝辞を述べさせて頂くことは、私の最も光栄とするところであります。当クラブ誕生の次第につきましては、只今ガバナー及び鈴木実行委員長から御話しがありましたので詳細は省きますが、創立会員27名にて発足した当クラブが現在は72名と相成り15年間に45名の増強を成しとげられました。これは一年間に3名10%強の増加率でありまして、真に立派な成績と深く敬意を表します。

さて次にクラブ誕生の動機につきまして些か申述べておきたいと思っておりますので、後日クラブ資料をまとめる際に書き添えて置いて頂きます。それは昭和46年の初夏でありました。新年度を目前にした某日です。足利の小野バストガバナーと宇都宮の滝沢ガバナーノミニーと地区幹事の私と3人で栃木会館クラブに於て次年度地区委員の選考をしていた最中に宇西クラブの会員である齊藤七五三男ドクターから電話が入りました。用件を伺いましたところ…西那須野に新クラブを創ったらどうか？特別に熱心

なキーメンの某君がおるので必ずよいクラブが出来ると確信する。もしこの機を逸するとライオンズに奪われてしまう公算大である。との示唆でした。早速鳩首相談の結果、その場から西那須野の熱心なキーメンと云われた某君一実は現在ここにおられる鈴木バストガバナーであります。電話をして訪問を約して細部打合せをしたのでした。拙速を責ぶ滝沢ガバナーノミニーはガバナー就任と同時に特別代表を任命し順調に事が運んでその年の11月8日には足銀支店で創立総会ということになりました。

総会には滝沢ガバナー、堀江特別代表、江部拡大委員、分区代理、分区内クラブ会長など出席されて盛会でした。パーティーは千本松牧場であったと記憶しております。当時江部老は88才の高令であり滝沢ガバナーは68才でした。お二人共に既に他界されました。尚当クラブ誕生の緒口をつくられた宇西クラブの齊藤先生も亡くなりました。同氏の電話がなかったら西那須野クラブは出来ていなかったかもしれません。或は誕生が延びていたかもしれないのです。感無量であります。

当クラブはその後、皆さまご存じの通り本日の実行委員長をつとめておられる鈴木バスターガバナーを先頭に奉仕の理想の顕現に邁進され先輩クラブを追い抜いて地区内優秀クラブの一つに数えられ今日に至ったのであります。又当クラブは創立当初から国際奉仕に意欲を示され海外クラブとの交歓に努めて来られました。鈴木ガバナー年度の国際色豊かな地区大会は皆さま記憶に新しいところと思います。西那須野クラブの皆さん。どうかこの15年間に経験し蓄積し築き上げたクラブ独特の立派な伝統を将来共大切に保ちつづけて行って下さい。

さて目を転じてみましょう。多くの人々の警告の中に、世は正に高度先端技術時代（ハイテク時代）に突入しております。ハイテクノロジーは人間の機能を後退させ、人間の思考力を減退させ、人間の最も大切である情感の世界を奪っていくものであると云われています。之を救うものは何でしょう。人間の愛情であります。更に具体的に云うならば思いやり、助け合いの精神、即ちロータリーで謂う奉仕の精神の発揚であります。これが人間性喪失の危機を救う

ものと信じます。西那須野クラブの諸君。どうかこの15周年の栄ある式典に当たり、ロータリー草創時代の世相と精神面に於て酷似した現在とを思い比べ地域社会の心の指導者として奉仕に徹して下さいようお願いいたします。

最後になりましたが、ここに15周年の節目を迎えるに当たり、クラブとして、来し方行く末について冷静に思いめぐらすときであろうと思います。この時期こそ即ち飛躍への反省のときであろうと思います。人間には生命の限界があります。クラブにはその限界はありません。クラブの生命は永遠であります。

人類の社会が続く限り、様々に変化するでしょうがロータリークラブは永遠に存続するものと信じます。そしてこの西那須野のクラブも未来永劫発展を続け、地域社会への貢献を続けてゆくことでありましょう。私はそれをひたすらにお祈りいたす次第です。最後に西那須野クラブの会員諸君、ご家族の皆さん、ご来賓各位のご健康とご発展を祝福いたしましてお祝辞といたします。本日はまことに目出度うございました。



祝 辞

衆議院議員 渡辺美智雄 殿

奉仕と友愛をモットーに積極的なクラブ活動を続けられ、広い分野にわたる奉仕活動を通じて地域社会の発展に貢献されてまいりました西那須野ロータリークラブが創立15周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

我が国は戦後数10年の間に経済大国日本とよばれるようになったのであります。

その要因としては、国民の英知と努力の結集はもとより、日本のような資源の乏しい国家が繁栄できたのは自由貿易のおかげであり、世界のG N Pの一角を占める我が国は、今後国際国家としてその責任を果たしてゆかねばならないのであり、国際協調を図り、産業の調整を進め自由貿易を守りながら日本の繁栄を持続させてゆくことに最大限の努力をしてゆかなければなりません。

栄枯盛衰はまさにこの世のならわしであります。繁栄しつづけた家や企業がないように繁栄しつづけた国家も民族もありません。

繁栄が長びけば必ずそこに墮落、不平がおきる為政者はこれに迎合して、国の衰退の運命を早めています。

私達は日本の繁栄を持続するためにもう一度ここに原点に戻り、今の内に墮落を防ぎ感謝と努力をもってやっていく必要があります。

ロータリークラブの行動綱領こそまさに手本であります。創立15周年を迎え、地域社会の中で一層行動するクラブに発展されていくことを心から祈念し御挨拶といたします。



祝 辞

栃木県議会議員 郡 司 征 夫 殿

西那須野ロータリークラブが、創立以来15周年を迎えられました事は、誠に喜びにたえません。また、この永きに亘りロータリークラブの発展に努力されました皆様の御苦勞に敬意を表し、一言御祝いを述べさせていただきます。

西那須野ロータリークラブは、創立当初より地域社会の発展と、明るく住み良い社会作りをめざし、永年に亘って大きく貢献されていることは周知のことです。高度成長の時代から、低成長時代となり社会情勢も変化してまいりました。経済と共に物の価値感や、社会通念も変化し、他人を思いやる心も年々薄れている現状です。少年の犯罪が新聞紙上を賑す昨今、特に最近問題となっている「いじめ」の問題などは、自己中心的な発想の表われではないかと思われまます。自分の鬱積した気持の捌け口として、弱い者への「八つ当たり」的行動としていじめが行われているのではないのでしょうか。今こそ「他人への思いやり」

の気配りが、必要な時ではないでしょうか。相手を思いやり、相手の立場に立った奉仕の考え方は、ロータリークラブが理想としていることと同一のものではないかと思えます。今こそロータリークラブの活躍が期待される時でありましょう。個々の持つ道徳水準を向上させることにより、地域社会の和が保たれ、それがさらに大きく広がることにより、人間として幸福が得られるのではないのでしょうか。

西那須野町においても、ロータリークラブのもつ意義は大きいと思われまます。年々、人口も増加し、だんだんと西那須野町も都会化しております。思いやりのある明るい町づくりのために、会員の皆様の今後共更に一層の御活躍を御期待するしだいでありまます。最後に、誠に粗辞では御座居まます、西那須野町ロータリークラブの今後益々の御発展と、皆様方の御健康を祈念致しまして、祝辞と致しまます。



祝 辞

桃園ロータリークラブ 陳 顯 清 殿
会 長

西那須野ロータリークラブ創立15周年の栄えある記念式典に桃園ロータリークラブを代表して祝辞を申し述べる機会を与えられたる事は私一生の光栄と存じます。

那須地方の開拓史には先人の並々ならぬ忍苦と努力が言い伝えられて居ります。それらの気風を伝える西那須野ロータリークラブはそのクラブ運営及び数々の奉仕活動に着実に表現されて居ります。これは総べて歴代会長の卓越した指導のもと、全会員が団結して努力された結晶であり、地区内でも指導的な地位を獲得せる由縁でもあり

ます。殊に私達の尊敬する鈴木バストガバナーが国際奉仕に払われたる貢献は日本国中でも特筆大書されるべきものとされて居ります。

7月末桃園クラブが二名の音楽教師を派遣しました折りにはお忙しい所、ホームステイ音楽教育研修及び見学に全クラブを挙げて御歓迎をたまわれたる事に対し厚くお礼申し上げます。姉妹クラブとして、両クラブは将来も末長く、協力し合い、両国の理解及び親善の促進に努力して行く様希望致しまして、私の祝辞と致します。



祝 辞

国際ロータリークラブ369地区
ガバナー 金 洛 律 殿

今日 貴クラブ 創立15周年記念日を迎えてお祝い申し上げる機会を得ましたこと
光栄の至りに思います。

私の地区内の、東水原ロータリークラブ
と貴クラブは、姉妹結縁を締結して、三年
の歳月が流れました。其の間、両クラブは
国際奉仕のプロデュースの一環としてお互
いに理解と親睦を深めながら協力して立派
な成果をおさめて来たと聴いております。
本当に望ましい事と存じます。

私の地区369地区は、貴国の271地区と姉
妹結縁をしている間でありまして、私も10
月4日に広島で開催される地区年次大会に
参席させていただきまして今回訪日した次
第であります。

東水原ロータリークラブの名譽会長をは
じめ会員の方々が西那須野クラブを訪問し
て式典に参加しお祝い申し上げます機会に私
にも祝辞を申し上げます光栄を下さいました
ことを感謝しながら一言所信を述べさせて
いただきます。

国際ロータリーの理念に基づいて両クラ
ブがより一層友情と親善を深める様真心か
らお祈り申し上げます。

国際ロータリーM・A・T CAPARAS
会長は「ロータリーは希望をもたらす」と

世界のロータリアンに、その目標を提唱し
ました。人生にあって希望は未来にかけ
る期待であり、生の喜びを呼び起す精神的秘
訣でもあるわけであります。すべての不幸
から人類を救い出すにはロータリアンの暖
かい奉仕が必要だというわけであります。

私は369地区に「奉仕は生を楽しくする」
即ち「SERVICE DELIGHTS
LIFE」というテーマを出しました。人
間は高邁なる意志と努力がその偉大さを高
めるものであり、努力の程度は成功の程度
を左右すると同時に、人類のための奉仕如
何が多くの人々から尊敬される原動力とな
るものと申し上げたいものであります。

ロータリーの理念に「より多く奉仕した
者は、より多く報いられる」といわれてい
るのもわけあることと思っております。奉
仕こそ人生を楽しくさせると同時に生涯を
より豊かにすると思うのでございます。

終りに貴クラブの創立15周年をお祝い申
し上げながら、クラブの発展をお祈り申し
上げますと同時に、岡部会長様をはじめ会
員皆様の御家庭に光栄と、希望をもたらす
ことを真心からお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

昭和61年10月6日

祝 電

創立15周年を祝し、貴クラブの今後益々のご活躍と、皆様の御健勝を、お祈り致します。

衆議院議員 波辺 美智雄 殿

西那須野ロータリークラブ創立15周年誠におめでとうございます。国際色豊かな記念式典のご盛会を心よりお祝い申し上げます。

バストガバナー 齋藤 隆 殿

創立15周年、心よりお祝い申し上げます。

栃木ロータリークラブ 殿

創立15周年をお祝いし、今後益々のご発展をお祈り致します。

宇都宮北ロータリークラブ 殿

非常に卓越した貴クラブが、創立15周年を迎えるに当たり、私共のトム・ベルツァー会長、並びに全会員はおめでとうございますと、お慶びを申し上げます。

バイセリアロータリークラブ

バスト会長 レイ・シリック 殿

バスト会長 ロイ・スミダ 殿



閉式の言葉

実行副委員長 井上正夫

御来賓の皆様長時間に亘り御協力を賜りましてありがとうございます。

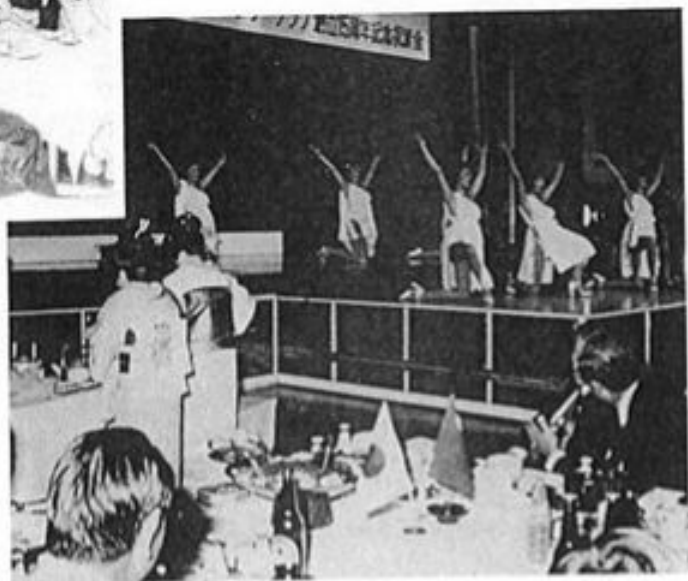
御蔭様をもちまして15周年記念式典が無事終了することが出来ました。又御丁寧なる御祝辞等を頂戴致しまして誠にありがとうございました。

当クラブもこれを節目と致しまして今後は更にロータリー発展の為に努力致したいと思います。

簡単ではございますが閉式の挨拶と致します。ありがとうございました。







クラブ小誌

歴代クラブ会長テーマ並びに方針

- | | |
|-----------|---------|
| (1) 十二代会長 | 森 利 男 |
| (2) 十三代会長 | 城 田 正 男 |
| (3) 十四代会長 | 井 上 正 夫 |
| (4) 十五代会長 | 手 塚 徳 次 |
| (5) 十六代会長 | 岡 部 稔 |

| | | | |
|-----------|-----------|-------------------------|------|
| R I 会長テーマ | 1982～83年度 | 人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう | 向笠広次 |
| クラブ会長テーマ | 1982～83年度 | 学ぼう そして知ろう 奉仕のために | 森 利男 |

1982～'83年度 森 利男会長挨拶（方針表明）



1982～83年度クラブ会長就任にあたり所信の一端を申述べます。

創立10周年の記念式典も盛大に行われ、記念行事のハイライト西那須野少年少女合唱団のフィリピン訪問親善演奏旅行も予想をはるかに上回る成功を取めて幕をとじました。そしてその功績はR I会長に認められて「特別世界理解と平和賞」受賞という輝しい金字塔を樹立いたしました。そして当クラブ10年の歩の中の「意義ある業績賞」或は「出席優秀クラブ表彰」その他数々の栄ある受賞歴に更に大きくその一頁を書き加えることが出来ました。これはとりも直さずマッキヤフリー会長の「ロータリーを通して世界理解と平和を」……のテーマを実践した現れであって、会員の皆さん特に直接行事の実施にたずさわられた方々の御苦勞に対しては心から深く感謝申し上げます。丁度一年前副会長就任の折クラブ奉仕担当理事としての挨拶の中で「笛は吹くだけでは良い音色は出ない。……諸君、指を動かしたまえ。」とゲーテの言葉を申し上げましたが、奉仕を理想とするロータリーの笛は皆さんの見事な演奏によって素晴らしい音色を響かせることが出来ました。

扱て今年も創立僅か10年のしかも区域内の人口4万人足らずの地方の小都市から、

ガバナー・ノミネーが誕生いたしました。鈴木先生共々クラブ会員一同

の名誉であります、と同時に責任の重大さをひしひしと感じている心境は私一人だけではないと思います。

この様な時期に栄光あるクラブの会長を務めさせて戴きますことは誠に身に余る光栄でございます。創立以来10人のそれぞれ特色ある実績を残された歴代会長さん方の様な活躍は到底望むべくもありませんが、私なりに及ばず乍ら精一杯の努力を惜しまぬ覚悟でございます。歴代の会長さん方を始め先輩の皆さんの御指導と、役員・理事を始め会員の皆さんの御援助を心からお願い申し上げます。

創立10周年の記念行事の成功は会員各位の10年間のたゆまざる努力が美しく花開いたものと信じます。今後更に20年30年を目標に更に美しい大きな花を咲かせ、立派な実を結ばせるべく尚一層の精進を重ねようではありませんか。マラソン競争の折返点は半分終わったからといって力を抜くことは出来ません。ゴールがあるからです。ロータリーに終点はないと云われています。ロータリーの奉仕活動に休みはありません。

しかし終始全力疾走することは難しいことです。時には満を持して次の行動に挑戦する。その様な時間も必要ではないでしょうか。

来年度は地区年次大会のホストクラブとして名誉ある大役を引受けることになると思われますので、物心両面にわたり今年度からその準備に取り組まなければならないと思います。

向笠R I会長はそのメッセージの中で「人類はひとつ」をテーマに、ロータリーを通じて「世界中に友情の橋をかけよう」と呼びかけております。更に四大奉仕部門についてそれぞれクラブとして又ロータリアンとして実践すべきことが示されております。そのどれもがやらなければならないことばかりですが、当クラブとしては昨年の10周年記念行事と来年の地区年次大会の狭間の年度という特殊な事情を考慮し次の様な方針で臨みたいと存じます。

- (1) 今年度から新しく設けた「クラブ奉仕委員会」を中心に会員の“量”と“質”の増強と会員及び家族の親睦を図り、クラブ一丸となって1983～84年度鈴木基一ガバナー事務所を255地区すべてのロータリー活動の原動力としてフルに機能させるべく、クラブとしての体制作りに努力したいと思います。
- (2) 社会的に経済事情が楽観を許さぬ現状をふまえ、経費をなるべく節約し会員の負担の軽減を図りたい。幸い当クラブの

大きな事業であった少年少女合唱団の育成運営も漸く軌道にのり合唱団保護者会の努力と町当局の御理解により一本立出来る見通しがつきましたので、クラブとしての負担はかなり軽減される見込です。今後はクラブ会員一人一人が個人的な援助をされることを期待いたします。そのためには後援会或は賛助会員等の組織作りを考えるべきだと思います。

- (3) 米山奨学生のカウンセラー及び世話クラブを契機として、従来手が廻らなかった米山記念奨学会への資金援助を推進したい。今年中に米山功労者、準功労者の実現を目指して国際奉仕委員会の内1名を米山奨学会担当とし、時期をみて委員会を設けたいと思います。

- (4) 「学ぼう そして知ろう」(奉仕のために)を今年度のテーマとして皆様と共に勉強し、会員の質の向上を図りたいと思います。行うためには知らなければなりません。知るためには先ず学ぶことでしょう。ベテランも新人も初心に還りもう一度勉強しようではありませんか。

以上本年度の方針として大略を申し上げましたが、会員の皆様の好意と友情に支えられて、無事この大任を果たすことが出来ますれば何より幸せでございます。精一杯頑張る決意でございます。何卒温かい御指導と御協力を賜ります様重ねてお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。

1983～'84年度 城田 正男会長挨拶（方針表明）



1983～84年度、クラブ会長就任に当たり所信の一端を申し述べさせていただきます。

次期次期会長にと、御指名頂きまして以来一年有余その準備にあるいは勉強に、たっぷり時間はあったはずですが、いよいよ衝に当たってみますと、事の重大さに緊張もその極に達して居ります。

それと申しますのも、歴代の会長並に幹事諸公の優れた手腕により、培かわれた遺風、築き上げられた業績、その結果「意義ある業績賞」2回、その他数々の受賞歴を有する、栄えある我がクラブの第13代会長として、はたしてその重責を全う出来るか否や、誠に不案を感じるからであります。

しかしながら、かくの如きすばらしいクラブ会長に指名頂きました私こそ、幸せ者でなく何でありましょう、男冥利に尽きるものであります。

かくなる上は、専心もってロータリー発展のため、任務に向かい邁進致す覚悟で御座居ますので、御一同様なにとぞ宣しく御協力たまわりますようお願い申し上げます。

さて、今年度の主なる施策を、項目別に申し上げますと、第一項はガバナー事務所を支援することと、年次大会を成功させることであると思うのであります。

申すまでもなくこの行事は、第255地区

の年中最大の行事であり、我がクラブ選出のガバナー、即ちR I役員とし

ての、腕の見せどころなのであります。従って近隣のクラブからは、お手並拝見として眺められ万一不成功にでも終われば、それこそ鼎の軽重を問われる、状況におかれている事も、忘れてはならないのであります。よって大会場の設営始め諸準備には、万全を期さねばならないのであります。御一同様の深い御理解を切にお願い申し上げます次第であります。

第二項は会員増強であります。当クラブと致しましては、期せずして増強の気運が高まりつつある所であります。本年は「まず友を増やそう」を標語として、クラブの総力を結集し、会員増強に当たりたいと思っております。具体策と致しましては従来より実施されておりましたグループ別炉辺会合を開催し、候補者を推薦する事に依りかなりの成果を収めましたので、今年も踏襲したいと存じます。

第三項はロータリー財団及び、米山記念奨学会に協力したいと思います。先ず財団についてましては洩れなく準フェローに加入して頂くこと。又、ポールハリスフェロー

にられました方々は、全員米山記念奨学会にご協力頂くことによって、目的を達成出来得るものと考えております。

第四項は青少年交換に参加であります。

我々の究極的目標を、何処に置くべきかと申せば、一つには子孫の繁栄が挙げられましょう。その子孫が公正にして、誤りのない世界観を身に付けるには、先ず見聞を広めることと思ひます。当クラブに在りましては、先輩各位のお骨折りに依りまして、先進国アメリカとの間に、既に門戸が開かれております。

本年は諸経費その他において、多事多難が想像されますが、仕事は忙わしい中でのやりくりによって、価値が生まれるものがありますし、事業は単年度では成果が望まれません。細くも永く、根気よく続ける事に依って効果が顕われる事を信じまして、今年も数名の学生をバイセリヤクラブに派遣することに致しました。

第五項は出席であります。出席について第一に強張すべき事は、例会出席こそ凡てに優先することです。手続き要覧の「クラブ例会への出席」に関する規定は、標準ロータリークラブ定款第八条第五節に明らかにされて居る通りであります。なお、出席は例会のみでなく、都市連合、ゼネラル・フォーラム、地区大会、その他地域大

会、世界大会も会員の出席に依って成立するのであります。

第六項は親睦と友愛であります。あの青年弁護士ボールハリスが、心の拠り所としてさがし当てた、数名の友との親睦の輪が広がり、ロータリークラブの創立に発展しました事は、何方もお分りの事と存じます。ロータリーの根本となるものは、親睦であり友愛によって、会員相互の繋がりが出来ているのであります。過去において退会者がありました中には、孤独におちいった者が多いと云われております。

昔も今も人情には変りのない事でありませぬ。其の親睦の輪を広げ、ロータリーを心のよりどころとして、大きく育てることこそ、課せられた使命と痛感しあえて、訴える次第であります。

以上、私の所信を申し述べましたが、今年度RI会長W・E・スケルトン氏のテーマである「Share Rotary - Serve People」は、たまたま私の意図する所でもあり、今年度新設された1983～84年度会長賞プログラムの内容とも合致しますので、会員御一同様の総力を結集し、事の遂行のため御奉仕たまわりますようお願い申し上げ所信の披露と致します。

有難う御座居ました。

1984～'85年度 井上 正夫会長挨拶（方針表明）

1984～85年度クラブ会長就任に当たりごあいさつ申し上げます。

クラブは歴代会長の計画と実行力、又会員皆様の御協力によりまして、数々の受賞歴を有し、又昨年度は第255地区ガバナーが選出されました栄光あるクラブでございます。

このような素晴らしいクラブの第14代会長にご指命頂きました事を深く感謝致します、とともにその任務の重大さを痛感し、浅学非才な私でございますが、自信と勇気と信念を持ちまして、誠心誠意ロータリークラブ発展の為に、努力を惜しまぬ覚悟でございます。歴代の会長さんを始め先輩各位の御指導と、役員・理事を始め会員の皆様の御協力と、御援助を心からお願い致します。

さて、昨年度はガバナー選出クラブと致しまして、ガバナーを始め、地区幹事・地区会計長・ガバナー事務所運営委員の方々本当に御苦勞様ございました。衷心より厚く御礼申し上げます。又、第255地区の最大の行事であります地区年次大会も、地方の小都市では今までに無い、内容の充実した盛大な大会が、成功裡に終了致しました事は、ひとえにガバナー及び地区大会実行委員長始め、会員一同の御努力の賜でございます。参加者の感激もひとしおでございます。

ました。

「ロータリアンで良かった、ロータリーは素的だ」と思った事でしょう、何事も勇気と実行力を以ってやれば、必ず出来るのだと言う事が実証されました。

本年度カルロス・カンセコR I会長のテーマは、「見つけよう奉仕の新生面」と呼びかけて居ります。クラブ・地域社会・職業・国際社会で更に一層奉仕の機会を拡げる為に、プログラムや活動に、新しい分野を見つける事が出来るはずだと言っております。

当クラブと致しましても本年度は、ロータリアンとして実践すべき事は色々ございますが、ロータリーの綱領に従い、四つのテストの実践を行い、ロータリアンとしての質の向上に努めながら新しい奉仕を考えたいと思います。

本年度クラブ会長のテーマは「身近な奉仕から輪を拡げよう」と掲げ、次の様な方針で臨みたい所存でございます。

- (1) クラブ例会には100%出席を奨励し、会員相互の親睦と友情を深め、信頼感を一層親密に致しまして、一人の退会者も無く、一人でも多くの友人を増やして内



容の充実した魅力あるクラブに致したい
と思います。

- (2) よく「足元から固める」と言いますが
奉仕も身近な地域社会の福祉関係、青少
年育成・環境・交通安全等に協力し、地
域に密着した奉仕活動を行い、地域住民
にロータリーを理解して頂く為には、広
報も積極的に致したいと思います。
- (3) 日米夏期交換学生が、本年度もバイセ
リアより来西致しますので、日本の歴史・
文化・風習等を紹介し、日米親善を更に
親密なる交友関係を結ぶのには、会員各
位の奉仕と御協力を特にお願ひ致します。

又、本年度も米山奨学生のカウンセラ
ー及び世話クラブになりましたので、米
山奨学生への資金援助を推進致しますと
共にロータリー財団も併せて御協力をお
願ひ致します。

以上本年度の会長方針を申上げましたが、
西那須野ロータリークラブ発展の為、情熱
とロータリー精神で全力投球致します、会
員皆様の善意ある御支援をお願ひ致しまし
て、無事この大任を果たすことが出来ます様
お願ひ致しまして、会長就任のあいさつと
致します。



1985～'86年度 手塚 徳次会長挨拶（方針表明）

新しいロータリー年度を迎え、1985～86年度会長として就任に当り、御挨拶を申し上げます。

創立以来歴代会長の優れた創意と計画、弛まざる行動力、と会員皆様の御協力に依りまして、当クラブは、これまで世界理解平和賞、意義ある業績賞をはじめ、数々の受賞に浴して居ります。又地方都市としては初めての地区ガバナーを選出したクラブとして、近隣先輩クラブにも遜色のない特色あるクラブとして栄光と名誉を保有して居ります。

この榮譽ある素晴らしいクラブの15代の会長として御推挙頂きました事は誠に身に余る光栄と存じます。心より深く感謝申し上げますと共にその責務の重大さを深く認識し、私なりに精一杯の力を傾注して、クラブの発展に寄与したい所存でございます。先輩各位の適切な御指導と理事、役員並びに会員皆様の友情溢れる御協力を心からお願い申し上げます。

本年度R I 会長エドワードFカドマン氏は You are the key 「貴方が鍵です」のテーマを掲げられました。「ロータリーの基盤、その力、そのよさは、ひとりひとりのロータリアンです。ひとりひとりのロータリアンこそ、ロータリーの奉仕の鍵です」

と述べられて居ります。ロータリアンとしての自覚と新たな認識を強く訴

えて居られます。一人一人が鍵となって奉仕の扉を開けなさい。ロータリーに傍観者は許されないと云う事に他なりません。尚テーマに基づいて四大奉仕の指針を示されて居ります。当クラブとしてはこの指針を尊重して奉仕活動に反映させて行かねばなりません、大凡次の方針で望み度いと思

います。ロータリーはクラブ奉仕から始まると云われますように、各委員会の連絡を密にして、親睦と友愛を旨とし、例会の魅力を増し、出席優秀クラブとして連年の受賞に恥じない出席率を保持するよう、本年も100%出席を標榜致します。新会員の質と量の着実な増強を図り、善意と友愛に充ちたクラブに致したいと思

います。物の面より心の面を重視した地域社会の奉仕を取上げ、環境保全、心身障害者、高令者、青少年に関係する分野に於て、地域のニーズに適った奉仕活動に取組みたい考えであります。又クラブの大きな事業の一つでありました少年少女合唱団は、維持会が結成され、独立出来ましたことは、計画



に沿った事ではありますが喜ばしい事であり、益々の発展を祈念すると共に、その成長を見守り度い所であります。

海外姉妹クラブ、友好クラブとの交流が一段と進む中で、当クラブが昨年度国際理解と親善に果たした業績は「奉仕活動優秀クラブ」受賞となって、新たなクラブの歴史を飾る事になりました。友好クラブ桃園（台湾）から呼び掛けに応じた姉妹クラブ締結に進むことは必然的な事であります。

本年秋に塩原に於て第4回日比ワークショップが開催されます。当クラブがホストを引受ける事になり、地区としてもクラブ

と致してましても、この大会が成功を収め、大きな成果が期待出来ますよう、万全の諸準備を期さねばなりません。皆様の御理解と御協力を切に御願ひする次第であります。

本年度のクラブ会長テーマを「寛容と和」と致しました。平凡な言葉ではありますが、クラブには和が大切であり、之を維持するものは寛容の精神であると思います。

以上方針の大略を申上げましたが、之までの業績に恥じない奉仕が出来ます事を念願し、重ねて皆様の御援助と御協力をお願い致しまして、就任の挨拶と致します。



1986～'87年度 岡部 稔会長挨拶（方針表明）

親愛なる西那須野ロータリアンの推薦により1986～'87年度の会長を務めさせて頂く事になりました。

会長就任に当り、御挨拶を申し上げます。西那須野ロータリークラブは人生で申しますれば元服（男女共に成人の表示として、髪形をかえ服を改め頭に冠を加えること）を迎える年齢に達したのであります。

思いますれば昭和46年11月8日に創立総会を迎え同年12月10日には国際ロータリーへの加盟が承認され、翌年6月4日には国際ロータリー加盟への認証状伝達式が挙行され歩み始めまして早や15年、創立会員の皆様はもとより西那須野ロータリアンの皆様が15年を振り返る時、その過去の足跡に新たな感慨を覚え感無量の事と推察申し上げます。

常に西那須野ロータリークラブの発展を願いつつ四つのテスト、ロータリー綱領を基としてクラブ奉仕、国際奉仕に弛まざる努力を傾注されました栄えある歴代の会長、幹事そして両者を強力な奉仕を以って支えられた西那須野全ロータリアンの温情がその評価として国際ロータリーより授賞された3度に亘る「意義ある業績賞」であり、1981～1982年度R I マッキヤフリー会長よりの「特別世界理解平和賞」であります。

更に第255 地区及びフィリピン4 地区（第380、382、385、386

地区）ガバナーよりの表彰等数多くの素晴らしい功績を、全ロータリアンが一丸と成って精進されその結果として成就されました。

私はクラブ会長エレクトとして、今市クラブがホストされ、今年2月23、24日の両日開催されましたクラブ会長エレクト研修セミナーに参加致しまして、ガバナーノミニ小竹俊夫氏より、国際協議会に臨席されその席上1986～1987年度国際ロータリー会長マットカバラス氏より、本年度の主題は「ロータリーは希望をもたらす」（ROTARY BRINGS HOPE）との事でした。

小竹ガバナーノミニよりクラブ会長エレクト全員にそのテーマの解説が行なわれ、希望は人生に光を与える存在であり、ロータリーは全世界の人々にとって自からと子供達の生活向上の夢を、今、いや遠からず与えてくれるものであるという希望の光があるので、ロータリーはその希望という光の発火点である。また、今年度R I 会長マットカバラス氏フィリピン国籍で有り広くアジアをとらえ、来るべき21世紀は希望



に満ちたアジアの時代であり、アジアの全ロータリアンが手を結びお互いに希望という名の種を無限に蒔いて下さい。近い将来必ずやその蒔かれた種は希望と云う立派な花を咲かせ実を結ぶ事でしょうと申されておりました。

感銘深いお話しを聞き帰途ロータリアンである幸せと己の人生に於ける充実感を改めて思い知らされました。

私は本年度の会長テーマとして「実りある奉仕」を掲げました。1986年10月6日栄えある西那須野ロータリークラブ創立15周年記念式典を迎え、第255地区はもとより海外姉妹クラブ（フィリピンバラニアックR. C、韓国東水原R. C、台湾桃園R. C）並びに友好クラブ（アメリカ、カリフォルニア州、バイセリアR. C）からも多

数の御臨席が予定されております。私は記念すべき祝賀会を挙げるに当り西那須野ロータリアン御婦人全員参加による積極的な親睦活動と国際親善を大いに深めて頂き、お互いのロータリアンそして家族の皆様が国際ロータリーに対する理解と奉仕を実践されますれば、実りある15周年を飾る事が出来るものと確信致しております。

歴代最年少会長で何かと行き届かぬ点もございましょうが、当クラブロータリアンのロータリアンによる実りある奉仕を如何にその職業を通し地域社会へ貢献することが出来るかその実現の為に皆様の温い御指導と御協力をお願い申し上げ精一杯の努力を致します事を誓い私の就任の御挨拶と致します。



各年度例会プログラム（5ヶ年）

プログラム（森年度）

| 月 日 | 主 題 | 担当委員 | ス ピ ー カ ー | 演 題 関 連 行 事 |
|-------|---|-------------|---|--|
| 7. 6 | 月例誕生、結婚祝 新役員就任挨拶 日本ガバナー連絡協議 報告 | 会長、幹事 | 森 会長 鈴木幹事 鈴木基一ガバナーノミニ | |
| 13 | クラブアッセンブリー | 幹事 | 森会長・鈴木基一ガバナーノミニ 佐藤分区代理・城田副会長・鈴木地区幹事 伊藤地区資金委員・草野地区大会実行委員長 高野新町長 | 就任挨拶 |
| 20 | 理事会委員会報告 三大奉仕委員長就任挨拶 | 会長、幹事 | 井上正夫・伊藤祐蔵 小滝信光 | |
| 27 | 懇親例会 | 会長、幹事 | 森 利男・大塩直文 高野三郎 | 前年度役員の慰労と今年 度役員の祝賀会 高野三郎町長就任の祝賀 会 |
| 8. 3 | 月例誕生、結婚祝 理事会並び委員会 | 幹事 | 城田正男・小池 保 小林正一・室井行男 | 福本治夫・大武義維 中里 正 |
| 10 | ガバナー公式訪問に ついて | クラブ奉仕 幹事 | 伊藤俊三 鷹栖律子会長 | ボランティアグループ くさの実会 |
| 17 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 各委員長 | |
| 24 | 外来卓話 | 職業奉仕 | 新井 豊 | 絵画についてのお話 |
| 31 | クラブアッセンブリー | 会長、幹事 | | ガバナー公式訪問を前に して |
| 9. 7 | 月例誕生、結婚祝 ガバナー公式訪問 | 会長、幹事 | 衣笠秀夫ガバナー | |
| 14 | 会員卓話 | 国際奉仕 | マリオCバーベリー | 在日30年の思い出 |
| 21 | 外来卓話 | 職業奉仕委員 長 | 足利銀行調査部長 丸山右寿様 | 時局経済講演 |
| 28 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 渡辺一郎・植竹幸重 | ガバナー公式訪問を受 けて |
| 10. 5 | 月例誕生、結婚祝 | 親睦国際奉仕 | 李 源珠 | 私とロータリーについて |

| 月 日 | 主 題 | 担当委員 | ス ピ ー カ ー | 演 題 関 連 行 事 |
|-------|----------------------|----------------|------------------------|--|
| 10. 5 | 外来卓話 | | | |
| 12 | 外来卓話 | 職業奉仕 | 大田原税務署長 影山一雄 | 身近な正しい納税について バラニアックRCとの友好について R・CとJFTDとの関係 |
| 19 | 会員卓話 | 国際奉仕 | 富田 勤 | |
| 26 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 君島 隣 | |
| 11. 2 | 月例誕生、結婚祝 | 親睦 | | |
| | 会員卓話 | 情報委員長 | 伊藤俊三 | I・G・Fについて |
| 9 | 外来卓話 | 国際奉仕 | 西那須野中学教諭 赤羽秀男 | アメリカの目・日本の目 (国際理解) |
| 16 | 会員卓話 | ロータリー 財団委員長 | 斉藤豊吉 | ロータリー財団週間 |
| 21 | 歓迎フィリッピン バラニアックRC | 国際奉仕 | 森 利男・斉藤(黒 羽R・C会長) | |
| | 訪日団一行親善レセプ ション | | ガンボア会長 | 富田 勤 |
| 30 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 木村憲次 | I・G・Fに参加して |
| 12. 7 | 月例誕生、結婚祝 | 親睦 | 伊藤祐蔵 | 交通安全標語について |
| | 会員卓話 | 社会奉仕 | | |
| 14 | クラブアッセンブリー | 各委員長 | 小滝信光・小林正治 | ・伊藤俊三・大武義維 |
| 21 | 1982～83年次総会開会 | 会長、幹事 | 森 会長 | 役員挨拶 於・いとう |
| 28 | 1982年さよなら例会 | | | |
| | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 草野栄龍 | 除夜の鐘 |
| 1. 4 | 月例誕生、結婚祝 | 会長、幹事 | 森 利夫 鈴木洋利 | 年頭の挨拶 |
| 11 | クラブ協議会 | ガバナー | 鈴木基一 | 1983年規定審議会について |
| 20 | 新年家族会 | 親睦委員会 | 大武義維 | 記念品贈呈 於・ニュー塩原 |
| 25 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 城田正男 | ロータリー例会出席の意義 |
| 2. 1 | 月例誕生、結婚祝 | 会長、幹事 | 森 利男 | 新入会員挨拶 |
| 8 | 外来卓話 | 社会奉仕 | 大田原消防署西那須 野分署長 福田 敬 | 火災予防について |
| 15 | クラブアッセンブリー | 会長、幹事 | | |

| 月 日 | 主 題 | 担当委員 | ス ピ ー カ ー | 演 題 関 連 行 事 |
|-------|-------------|--------------|-------------------|------------------|
| 2. 22 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 関谷直人・大塩直文 | ロータリー週間にあたり |
| 3. 1 | 月例誕生、結婚祝 | | | |
| | 会員卓話 | 職業奉仕 | 井上正夫 | 職業奉仕について |
| 8 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 室井行男 | ロータリーの徽章について |
| 15 | 西那須野、黒羽合同例会 | クラブ奉仕 | 車田孝夫 | 宮内庁東宮職の思い出話 |
| 22 | クラブアッセンブリー | 会長、幹事 | 森 利男・鈴木洋利 | クラブ奉仕・各委員会活動について |
| 29 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 戸田白鳳 | 彼岸の意味について |
| 4. 5 | 月例誕生、結婚祝 | 親睦 | | |
| | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 石川光一 | お金の話 |
| 12 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 宮 利男 | 松くい虫について |
| 19 | クラブアッセンブリー | 会長、幹事 | 森 利男・鈴木洋利 | フリートーキング |
| 26 | 年次大会を終わって | 会長、幹事 | 森 利男・鈴木洋利 | |
| 5. 3 | 憲法記念日（休会） | | | |
| 10 | 月例誕生、結婚祝 | 会長、幹事 | 森 利男・鈴木洋利 | カナダトロント国際大会例会 |
| 17 | 外来卓話 | 職業奉仕 | 足利銀行調達部長 丸山右寿様 | 経済事情について |
| 24 | クラブアッセンブリー | 会長、幹事 | 森 利男・鈴木洋利 | |
| 31 | 会員卓話 | 職業奉仕 | 土山幸三 | さつき観賞についての工夫 |
| 6. 7 | 月例誕生、結婚祝 | 親睦 | | 日米交換学生について |
| 14 | 外来卓話 | 職業奉仕 | 県立那須養護 校長 小林武寛 | 表彰について |
| 21 | クラブアッセンブリー | 会長、幹事 | 森 利男・鈴木洋利 | |
| | | ガバナー エレクト | 鈴木基一 | 国際協議会より帰って |
| 28 | 最終例会 | | | 会長、幹事退任挨拶 |

プログラム（城田年度）

| 月 日 | 主 題 | 担当委員 | ス ピ ー カ ー | 演 題 関 連 行 事 |
|-------|--|---------------|----------------------------|-------------------------|
| 7. 5 | 月例誕生、結婚祝 第 255地区ガバナー 就任挨拶 新役員就任挨拶 | 会長・幹事 | 鈴木基一ガバナー 城田会長・高瀬幹事 | 本年度方針 |
| 12 | クラブアッセンブリー | 会長・幹事 | 四大奉仕委員長 | 本年度方針挨拶 |
| 19 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 各委員長 | ＊ |
| 26 | クラブアッセンブリー | 国際奉仕 | 中里 正 M・バーベリー | バイセリヤRC夏期交 換学生社行会 |
| 8. 2 | 月例誕生、結婚祝 会長幹事会報告 | 会長・幹事 | 城田会長・高瀬幹事 | |
| 9 | 年次大会 | 大会実行委員会 | 委員長 草野栄龍 | 年次大会協力を |
| 16 | 会員増強 会員卓話 | クラブ奉仕 | 君島六郎 各委員長 | 炉辺会合報告 本年度方針 |
| 23 | 夏期交換学生帰国報告 会員卓話 | 国際奉仕 クラブ奉仕 | 中里 正外学生 神島誓良 | 仏教の四食について |
| 30 | 会員卓話 | ＊ | 佐々木栄緑 | 作海と舟の話 |
| 9. 6 | 月例誕生、結婚祝 外来卓話 | 青少年奉仕 | 黒羽刑務所分類審議 室長 洪井信久殿 | 青少年問題について |
| 13 | 会員卓話 報告 | クラブ奉仕 | 佐藤正一 森 利男 | プロバンガスについて ライラについて |
| 20 | 地区クラブ奉仕報告 ＊ 国際奉仕報告 外来卓話 | 会長・幹事 | 君島六郎外3名 中里 正 W・Eショアー | 交換学生の窓口を開い た人旧当クラブ会員 |
| 27 | 600 回記念 | 会長・幹事 | 小池 保バスト会長 小出正夫 々 | 創立から今までを振り かえって |
| 10. 4 | 月例誕生、結婚祝 会員卓話 | クラブ奉仕 | 西那須野町長 高野三郎殿 小林正治 | 町づくりの課題 米山財団について |

| 月 日 | 主 題 | 担当委員 | ス ピ ー カ ー | 演 題 関 連 行 事 |
|--------|------------|---------|-------------------------------------|---------------------|
| 10. 11 | 工場見学 | 職業奉仕 | 塩原町日本プレジ ジョンサーキットKK 取締役大和田敦之殿 | アイシー製造工程 |
| | 年次大会委員会 | 大会実行委員会 | 森 利男大会幹事 | 実行委員会名簿 |
| 18 | 外来卓話 | 職業奉仕 | 大田原税務署長 三沢法敏殿 | ハード・ソフト企業の 現在と将来 |
| 25 | 年次大会について | 大会実行委員会 | 鈴木基一ガバナー 草野栄龍委員長 | 会場 雲照寺 東京企園 |
| 11. 1 | 月例誕生、結婚祝 | | | |
| | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 広瀬 久 | ロータリー財団協力に ついて |
| | 々 | | 久保福市 | わが町酪農の今昔 |
| 8 | クラブアッセンブリー | 会長・幹事 | 君島六郎 | IGFについて |
| 15 | 会長指命委員会報告 | 会長・幹事 | 鈴木基一委員長 | 手塚徳次次期々会長 指名 |
| | 会員卓話 | | 佐々木栄緑 菊地 孝一 | IGFに参加して |
| 22 | 公式訪問 | | | 会場変更 いとう |
| 29 | 外来卓話 | 社会奉仕 | 県アマチュア相撲指 導者 舟山 一殿 | 相撲を通して青少年 教育 |
| 12. 6 | 月例誕生、結婚祝 | | | |
| | 年次総会 | クラブ奉仕 | 君島六郎 | |
| | 会員卓話 | | 鷹栖 明・安西久親 | ガバナー公式訪問感想 |
| 13 | 々 | クラブ奉仕 | 高橋智純 | 禅宗について |
| | ライラ参加者 | | 大金礼子・平山敬代 | ライラ参加感想 |
| 20 | 年次総会 | 会長・幹事 | | 会場変更 いとう |
| 27 | ガバナー卓話 | 々 | 鈴木基一ガバナー | 公式訪問を終了して |
| 1. 4 | 月例誕生、結婚祝 | | | |
| | 会員卓話 | 会長・幹事 | 鈴木基一ガバナー 城田正男会長 | 年頭の挨拶 々 |
| 1. 10 | クラブアッセンブリー | 会長・幹事 | 城田会長 | 後半の方針 会員増強 |
| 17 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 土屋日出男 | 貨物運送業について |
| | 々 | | 土井研二 | 私のおいたち |

| 月 日 | 主 題 | 担当委員 | ス ピ ー カ ー | 演 題 関 連 行 事 |
|-------|----------------------|------------------|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 17 | | 社会奉仕 | 鷹栖律子 | ボランティアグループ 草の実会 |
| 24 | 新年家族会 | 親睦委員会 | 金子哲也 | 塩原簡易保険保養セン ター |
| 31 | 会員卓話 | クラブ奉仕 | 鷹栖 明 福本治夫 | つり橋の出来るまで 訪米報告 |
| 2. 7 | 月例誕生、結婚祝 会員卓話 | クラブ奉仕 | 各委員長 小林正治外5名 | 後半の協力 |
| 14 | 3分間スピーチ 年次大会について | 大会実行委員会 | 大橋章一 バスターガバナー | 年次大会の注意事項 |
| 21 | 外来卓話 | 国際奉仕 | アジア学院 菊地 創先生 | 世界理解と平和 共に生きるために |
| 28 | 外来卓話 | クラブ奉仕 | ガバナー事務所 森 悠子さん | 約束と期日を守ること |
| 3. 6 | 月例誕生、結婚祝 外来卓話 | 米山財団 | 米山財団 李 源珠さん | 別れの挨拶 |
| 16 | 西那須野、黒羽合同 例会 | 会長・幹事 | 足利銀行 丸山調査部長 | 景気の見通し |
| 27 | 年次大会について | 大会実行委員会 クラブ奉仕 | 森大会幹事 井上正夫 | 役割分担について 1984～85年度クラブ委 員会編成について |
| 4. 3 | 月例誕生、結婚祝 年次大会について | 大会実行委員会 | 森大会幹事 | |
| 11 | クラブアッセンブリー | 々 | 鈴木基一ガバナー 東京企画 | 塩原文化会館 奥様現地視察 |
| 19 | 年次大会について | 大会実行委員会 | 森大会幹事 | 塩原文化会館 |
| 27 | クラブアッセンブリー | 々 | 鈴木基一ガバナー | いとう |
| 5. 1 | 月例誕生、結婚祝 会員卓話 | クラブ奉仕 | 尾暮新一 | 家業について |